

# 世界経済へのアジアの貢献

— 内需主導成長への移行に向けた展望と課題 —

第4回タイ中央銀行ポリシー・フォーラムにおける講演

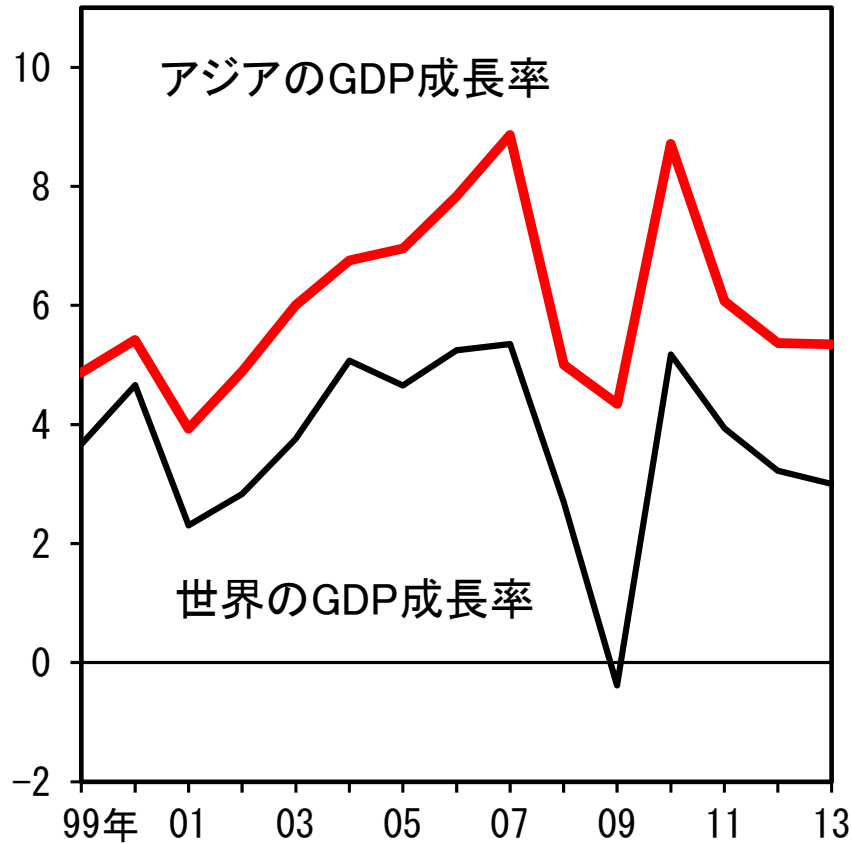
2014年7月24日

日本銀行総裁  
黒田 東彦

# 図表 1 世界経済を牽引するアジア

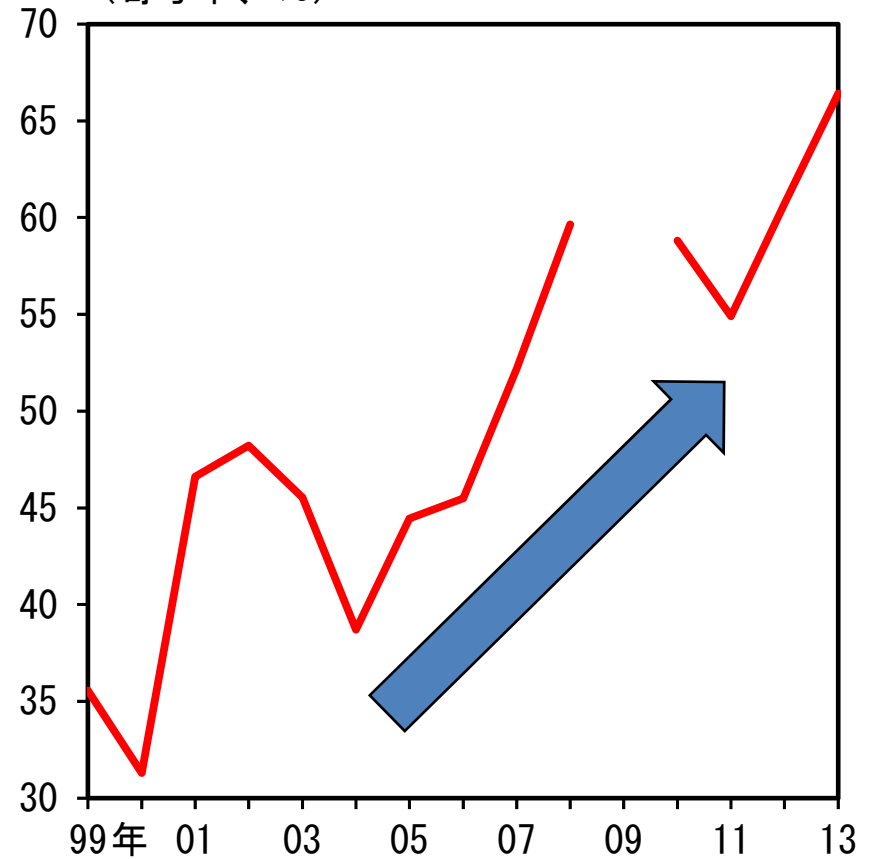
## GDP成長率

(前年比、%)



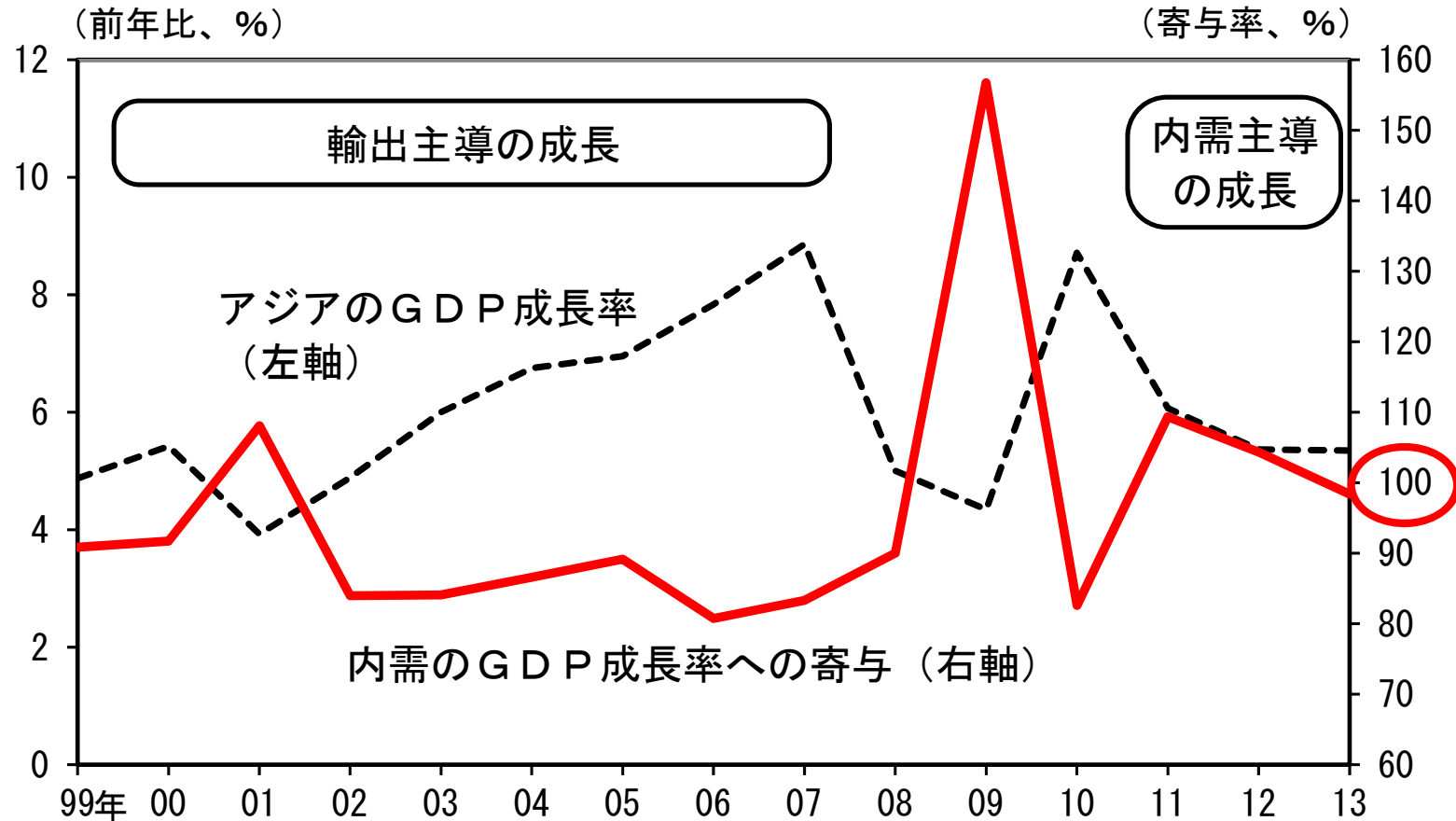
## 世界のGDP成長率に対する アジアの寄与

(寄与率、%)



- (注) 1. アジアは、日本、中国、インド、NIEs (香港、シンガポール、韓国、台湾)、ASEAN4 (インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ)、ベトナム、バングラディシュ、ミャンマー、カンボジア、ラオスの計16か国。  
 2. 2013年のデータが未公表の場合、2012年のデータを用いた。  
 (資料) IMF、World Bank、United Nations、各国統計

## 図表2 内需主導の成長への移行



- （注）1. アジアは、日本、中国、インド、NIEs（香港、シンガポール、韓国、台湾）、ASEAN4（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ）、ベトナム、バングラディシュ、ミャンマー、カンボジア、ラオスの計16か国。  
 2. 2013年のデータが未公表の場合、2012年のデータを用いた。
- （資料）IMF、World Bank、United Nations、各国統計

図表3 アジアの中央銀行と日本銀行との間の  
クロスボーダー担保取極

	取極締結年	適格担保
タイ中央銀行	2011年	日本国債、円（現金担保）
シンガポール 通貨監督庁	2014年	日本国債
インドネシア 中央銀行	2013年に 基本合意	日本国債